

## 令和4年度第2回大府市環境審議会 議事録

日時：令和5年3月8日（水）

午前10時から

会場：大府商工会議所 大ホール

＜委員出席者＞ 13名（敬称略）

千頭聡（日本福祉大学国際福祉開発学部教授）、西村和子（大府市教育委員会教育委員）、村瀬由理（大東小学校再任用・教諭）、横井良宏（愛知県知多県民事務所環境保全課課長）、安藤吉富（区長会会長）、加古多美子（あいち知多農業協同組合女性部大府地域部長）、間瀬計行（大府商工会議所事務局長）、小椋和美（大府市生活排水クリーン推進員）、坂野好子（パンノ自動車商会代表）、深谷多恵子（株式会社みどりや）、近藤隆幸（株式会社豊田自動織機安全・総務部環境室室長）、相木徹（オオブユニティ株式会社代表取締役）、横山眞弓（市民）

### 1. 開 会

- ・千頭会長より挨拶
- ・新規委員の近藤委員より挨拶

### 2. 議題

（1）令和5年度一般廃棄物処理実施計画（案）について

#### 【事務局】

資料1について説明

#### 【委員】

リフューズの説明について、「ごみになるものの受け取りを断る」とはどういうことか。

#### 【事務局】

プラスチック製カトラリーやレジ袋の辞退を指している。

#### 【会長】

ごみの総量については、指定ごみ袋制度が始まった1999年、バイオマスプラスチック製指定ごみ袋に切り替わった2020年から減少しているようである。知多半島の他自治体では、ごみ収集の有料化の事業によって、ごみの減量対策を進めている状況である。

#### 【会長】

転入者にどのようにごみ収集場所を案内しているのか。

#### 【事務局】

個別に問い合わせを受けた場合に、近くのごみステーションの位置をお伝えし、併せて近隣の方に一声かけてから使っていただくようご案内している。

**【会長】**

外国人転入者はごみ収集場所やごみの分別がわからないという方も多い。ごみ出しマナーの問題にもつながると思うので、ご案内の際は配慮いただきたい。

**【副会長】**

乾電池等の回収場所を公共施設以外にも増やすことは可能か。

**【事務局】**

公共施設以外には農業協同組合や郵便局にも設置にご協力いただいております、希望のあった病院にも設置した。今後、市民が利用しやすい場所の設置希望があれば検討する。

**【副会長】**

乾電池回収に出す場合、セロハンテープで巻く等の対応は必要か。

**【事務局】**

必要ない。

**【委員】**

汚れているプラ製品の分別についてどのような取扱いをすればよいか。

**【事務局】**

洗って簡単に汚れが落ちる者は資源、汚れが落ちないものは可燃ごみとして案内している。

**【委員】**

プラスチック一括回収の開始にあたり、資源として出せるのか判断に迷う方も多いと思うので事前に分別範囲の周知をしていただきたい。

**【委員】**

環境美化委員という立場で活動していると調味料キャップや樹脂コーティングされた金属ふたなど、判断に迷っている方も多い。分別の判断基準を周知してほしい。

**【委員】**

バイオマスプラスチック製指定ごみ袋導入の際に、不法投棄が増えるのではないかという意見があったがどうか。

**【事務局】**

不法投棄の数は増えていないが、変更前のごみ袋で出されるという相談がある。その場合、中身に応じて市で引き上げることもある。

**【委員】**

市外のごみが田畑等に投棄されることがある。今後も引き続き、不法投棄対策について啓発していただきたい。

**【委員】**

発火性危険物とはなにか。

**【事務局】**

ガスコンロ、ガストーブ、石油ファンヒーターである。

**【委員】**

4月からの収集方法の変更がわからないという相談を受けることがある。地域ごとの出し方を教えてもらうことは可能か。

**【事務局】**

地域ごとの収集日等を記載した看板を作ることが可能である。また広報おおぶの内容をチラシにして配ることを検討している。

4. 報告事項

(1) プラスチック一括回収の周知状況について

**【事務局】**

資料2について説明。

**【会長】**

指定20品目の周知は十分か。

**【事務局】**

広報おおぶ特集ページでイラスト付きで解説している。

**【委員】**

プラスチックと木の複合品はどうしたらよいか。

**【事務局】**

取り外しができない場合、可燃ごみと出していただきたい。

**【委員】**

プラスチック一括回収の開始に伴い、リチウムイオンバッテリーが入ったプラスチック製品の混入等は車両火災や大きな事故につながる恐れがある。対象品目の周知の徹底をお願いしたい。

**【会長】**

SDGsの観点では「つくる責任 つかう責任」がある。製品そのものの分別のしやすさも向上しているが、引き続き啓発活動が必要。

**【委員】**

割れた陶器やガラスは新聞紙やダンボールに包んで不燃ごみで出してよいか。資源についても判断に迷うものもあるので周知をお願いしたい。

**【委員】**

車両火災防止のため、不燃ごみは中身を確認しながら回収している。中身がある程度わかれば安全に回収できるのでケースに応じて出していただきたい。

**【委員】**

ごみ拾いをした際の汚れている空き缶等は不燃ごみで出してよいか。

**【事務局】**

不燃ごみで出していただいてもかまわないが、回収漏れを防ぐため事前に連絡をいただきたい。もしくはボランティア用ごみ袋を無料で配布しているので、そちらを活用いただきたい。

5. 連絡事項

- ・ 次回は、令和5年7月頃開催予定。